

**Special
Olympics**
Nippon



スペシャルオリンピックス 競技会開催ガイドライン

2026年8月 改訂

公益財団法人

スペシャルオリンピックス日本

目 次

1	スペシャルオリンピックス (SO) の使命	2
(1)	スペシャルオリンピックスの使命 (原文)	2
(2)	スペシャルオリンピックスの目指すもの	2
2	スペシャルオリンピックスの競技会	2
(1)	スペシャルオリンピックス競技会とは?	2
(2)	スペシャルオリンピックス競技会の定義	2
(3)	スペシャルオリンピックス競技会の種類	3
3	競技会・大会への参加	5
(1)	競技会 (大会) の参加資格	5
(2)	SO スポーツルールの遵守	5
(3)	競技会のステップ	6
4	スペシャルオリンピックス競技会・大会の開催	7
(1)	競技会・大会の進行ガイドライン	7
(2)	開会式	8
(3)	表彰式	9
(4)	閉会式	10
5	開会式の台本例	11

1 スペシャルオリンピックス(SO)の使命

(1) スペシャルオリンピックスの使命(原文)

スペシャルオリンピックスの使命は、年間を通じた様々なオリンピック形式のスポーツのトレーニングと競技会を、知的障害のある8歳以上の人たちに提供するものです。スペシャルオリンピックスは体力の向上にはもちろんのこと、勇気を表現することや、楽しみを経験するためにも、継続的な機会を提供します。アスリート*はスペシャルオリンピックスのプログラムに参加することで、技術や友情を、家族、地域の人々や他のアスリートといっしょに分ちあうことが出来るのです。

※ スペシャルオリンピックスに参加している選手をアスリートと呼んでいます。

※ スペシャルオリンピックスでは、日常のトレーニングへの参加資格は6才以上(小学校入学年齢)としています。ただし競技会への参加資格は8才以上とします。6歳以上8歳未満のアスリートの競技会・大会への参加については、トレーニング中の安全面に十分配慮した上で、アスリート自身がルールや参加について理解し準備ができるかどうか等、各地区組織で十分にご検討の上、ご判断ください。

(2) スペシャルオリンピックスの目指すもの

スペシャルオリンピックスは、アスリートとともに家族(=ファミリー)やボランティアが一体となって活動を進めることにより、アスリートの運動機能向上や身体的な発達促進ばかりでなく、チャレンジ精神や勇気を培い、目的達成の喜び、生きる喜びを共感、共有することを目指します。

2 スペシャルオリンピックスの競技会

(1) スペシャルオリンピックス競技会とは？

アスリートの技術は、適切なコーチングの基に行われる継続的なスポーツトレーニングだけでなく、同等の競技能力の者同士がこれまでのトレーニングの成果を競い合う競技会を経験することで向上します。競技会では、競技能力を評価し、努力の成果と個々人の成長を奨励することが大切なことと考えます。

スペシャルオリンピックスでは、全てのアスリートが競技会において勝利をおさめる平等な機会が提供されます。そのためには、あらゆる競技レベルのアスリートが個々の能力を十分に発揮できるよう、アスリートに適した競技及び種目を提供することが必要です。

(2) スペシャルオリンピックス競技会の定義

- ・ スペシャルオリンピックスの競技会では以下の4つの要素が含まれなければなりません。

(各要素の詳細については7ページ以降をご参照ください)

- a. 開会式
- b. 競技
- c. 表彰式
- d. 閉会式

※ アスリートには、普段トレーニングを一緒に行っていないアスリートと競技する機会をできるだけ提供して下さい。

※ 競技については、アスリートの日常のトレーニング成果を発表できる機会をより多く提供するための、競技、および種目の設定を行ってください。

※ 競技会開催にあたって、SO日本では、単一競技で開催するものを「競技会」、複数競技で開催するものを「大会」と称します。

なお、競技別全国大会の場合は、単一競技であっても「全国〇〇〇大会」とします。

(3) スペシャルオリンピック競技会などの種類

- ① 発表会・記録会（競技会、大会には含まない）
- ② 地区競技会・大会
- ③ ブロック競技会・大会
- ④ 競技別全国大会
- ⑤ ナショナルゲーム（NG）
- ⑥ 海外招待大会
- ⑦ 世界大会（ワールドゲーム、WG）

- ① 1 ターム/クールのトレーニングが終わった後に行い、可能な限り開会式、表彰式、閉会式もあわせて実施することを推奨します。

発表会は、アスリートが観衆（他のアスリート、コーチ、ファミリー、一般客等）の前で1 人またはグループでプログラムでの成果を発表することを目的とします。

記録会は、ルールに従って競技を実施しますが、順位はつけずにこれまでのトレーニングの成果を記録としてとることを目的とします。

- ② SO 日本地区組織が主催する競技会・大会
- ③ ブロック単位で開催される競技会・大会
比較的身近なエリアで日頃は一緒にトレーニングをしていないアスリートと競技する機会を提供します。また、ナショナルゲームへの参加が難しいアスリートにとって、競技や旅行への参加の機会を広げることを目的としています。
- ④ 全国で20 地区以上がプログラムを実施していて、尚且つ大会を開催した場合に10 地区以上の参加が見込まれる競技について行う全国大会。全国レベルの大会により多くのアスリートが参加できる場を提供することを目的としています。
- ⑤ 夏・冬2年おきに開催される全地区を対象とした全国規模の大会。SO 日本が主催し、SO 日本地区組織が主管する。
- ⑥ アジアパシフィック地域内等で開催されるナショナルゲーム、リージョナルゲーム等への招待参加。
- ⑦ 夏・冬2年おきに開催される世界規模の大会。

<参考・主なナショナルゲーム、ワールドゲームの開催状況>

2017年4月現在

<SO日本ナショナルゲーム開催状況>

1995年	第1回夏季NG	熊本	2006年	第4回夏季NG	熊本
1996年	第1回冬季NG	宮城・福岡	2008年	第4回冬季NG	山形
1998年	第2回夏季NG	神奈川	2010年	第5回夏季NG	大阪
2000年	第2回冬季NG	長野	2012年	第5回冬季NG	福島
2002年	第3回夏季NG	東京	2014年	第6回夏季NG	福岡
2004年	第3回冬季NG	長野	2016年	第6回冬季NG	新潟

<ワールドゲーム開催状況>

1968年	第1回夏季大会	アメリカ／イリノイ州
1970年	第2回夏季大会	アメリカ／イリノイ州
1972年	第3回夏季大会	アメリカ／カリフォルニア州
1975年	第4回夏季大会	アメリカ／ミシガン州
1979年	第5回夏季大会	アメリカ／ニューヨーク州
1983年	第6回夏季大会	アメリカ／ルイジアナ州
1987年	第7回夏季大会	アメリカ／インディアナ州
1991年	第8回夏季大会	アメリカ／ミネソタ州
1995年	第9回夏季大会	アメリカ／コネチカット州
1999年	第10回夏季大会	アメリカ／ノースカロライナ州
2003年	第11回夏季大会	アイルランド／ダブリン
2007年	第12回夏季大会	中国／上海
2011年	第13回夏季大会	ギリシャ／アテネ
2015年	第14回夏季大会	アメリカ／カリフォルニア州 ロサンゼルス

1977年	第1回冬季大会	アメリカ／コロラド州
1981年	第2回冬季大会	アメリカ／バーモント州
1985年	第3回冬季大会	アメリカ／ユタ州
1989年	第4回冬季大会	アメリカ／ネバダ州、カリフォルニア州
1993年	第5回冬季大会	オーストリア／ザルツブルグ
1997年	第6回冬季大会	カナダ／トロント
2001年	第7回冬季大会	アメリカ／アラスカ州
2005年	第8回冬季大会	日本／長野県
2009年	第9回冬季大会	アメリカ／アイダホ州
2013年	第10回冬季大会	韓国／ピョンチャン
2017年	第11回冬季大会	オーストリア／シュラートミング、ローアモース、ラムサウ、グラーツ

3 競技会・大会への参加

(1) 競技会(大会)の参加資格

スペシャルオリンピックスの競技会への参加は、8歳以上のアスリートたちが、SOが提供するスポーツトレーニングに、より直近で8週以上の期間に8回以上参加することが望ましい。

- ※ ナショナルゲームにおける参加資格は、ナショナルゲーム大会要項を参照すること。
SO日本地区組織が提供しているスポーツトレーニングプログラム(ナショナルゲーム参加競技と同一)に、定められた一定の期間内で8週間8回以上参加することが条件となっています。選出方法については本ガイドライン6ページを参照すること。

(2) SO スポーツルールの遵守

競技会では、全ての競技能力のアスリートに勝利の機会を平等に与えるために、SOスポーツルールを遵守して行わなければなりません。

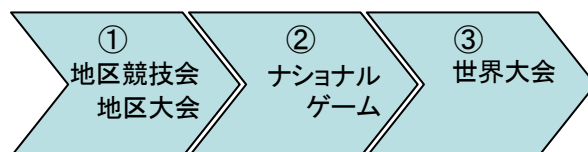
- ・ **ディビジョニング**
スペシャルオリンピックスでは、予選で競技をしたアスリート(スポーツマンシップに反した失格者は除く)は全員決勝へと進むことができます。予選の大きな目的は、決勝で競技をするグループ分けをすることです。アスリートが自己ベストに挑戦し、最高のパフォーマンスを発揮する場を提供するため、予選の結果や性別、年齢ごとに決勝で競技するグループに分けられます。このようなグループ分けのことをスペシャルオリンピックスではディビジョニングと呼びます。1 グループの人数やチーム数は原則 3〜8 と決められており、そのグループのことをディビジョン*と呼びます。

- ※ ディビジョン内の最高記録と最低記録の差が15%を超えないよう、ガイドラインとして推奨しています。詳細は、SO公式スポーツルール総則「10. スペシャルオリンピックスのディビジョニング」をご確認ください。

- ・ **マキシマムエフォート反則**
ディビジョニングを公正に行うためにアスリートは全力で競技をすることが求められます。これに違反した場合は、失格になる場合があります。

- ※ 競技種目や状況によって基準が異なる場合があります。詳細は、SO公式スポーツルール総則「11. マキシマムエフォート反則」ならびに各スポーツルールをご確認ください。

(3) 競技会のステップ



- 基本原則
全ての競技能力のアスリートに、次の上位レベルの競技会へ参加する機会が等しく与えられます。ただし、上位レベルの競技会へ参加できるアスリートの人数が限られている場合は、以下の方法により参加アスリートが選抜されます。
- 選出方法
各競技、各種目、各ディビジョンの1位入賞者を選出し、そこから抽選します。
選出された1位入賞者数が上位大会の参加枠(クォータ)に満たない場合は、2位のアスリートから抽選します。2位のアスリートを加えても参加枠が満たないときは、3位へと順次繰り下げての抽選となります。

詳細は、SO公式スポーツルール総則「13. 上位レベルの競技会への進出条件」をご確認ください。

4 スペシャルオリンピックス競技会・大会の開催

(1) 競技会・大会の進行ガイドライン

競技会の各式典、競技会には原則として下記の項目が盛り込まれます。

開会式

- ・ アスリートは旗手とともに行進して会場に入場
- ・ スペシャルオリンピックストーチの入場
- ・ スペシャルオリンピックス宣誓(アスリート宣誓、競技役員宣誓、コーチ宣誓)
- ・ スペシャルオリンピックス旗の掲揚
- ・ 競技会の開会宣言
- ・ アスリートの退場

競技会

- ・ アスリートは、各競技種目のディビジョンごとに集合する
- ・ 種目別のディビジョンごとに競技する

表彰式

- ・ 競技終了後、ディビジョンごとに賞を授与する
- ・ 1位～3位は金銀銅のメダル、また4位～8位及び参加賞にはリボンを授与する

閉会式

- ・ アスリートは行進して入場
- ・ スペシャルオリンピックストーチの退場
- ・ 競技会の閉会宣言

※総合開会式、閉会式の開催について(地区大会、ブロック大会の場合)

可能な限り、参加者全員が参加する総合開会式、閉会式を実施することが望ましい。しかしながら、競技の開催日や場所が異なり、全員が参加することが困難な場合は、競技ごとの開会式や閉会式を実施することとする。

(2) 開会式

a. 開会式前の準備

- ・地域の著名人(例:高校や大学の運動選手、教師、学校長、ラジオ／テレビ局のアナウンサーなど)に司会をお願いする。(可能であれば)
- ・開会式では音楽を有効に利用する。
- ・スペシャルオリンピックスの旗を持つアスリートを選出する。
- ・スペシャルオリンピックスのトーチランナーを選出する。
- ・地元の著名人とスペシャルオリンピックスに参加するアスリートの中から宣誓を行う者を選出する。
- ・スペシャルオリンピックス旗を掲揚するアスリートを選出する。
- ・開会式の進行表をチェックし、スペシャルオリンピックスアスリートの待機／集合場所と行進ルートを決める。

備品リスト(例)

- ・演壇
- ・スペシャルオリンピックス旗
- ・音響装置
- ・音楽 ＊地元の消防、学校等の生演奏など。
- ・トーチ、聖火台
- ・テープ、コーンなど(行進の誘導に使用する)

b. 開会式の構成

1. スペシャルオリンピックス選手団の入場行進
 - ・旗手が先頭に立つ。
 - ・アスリートは列を作り、旗手の後ろにつく。
 - ・来賓または地元の著名人も、アスリートと一緒に行進する。
2. 事前に選ばれたトーチランナーが、トーチを持って入場する。
3. 事前に選ばれたアスリートと地元の著名人が宣誓を行う。
4. 地元の著名人が開会を宣言する。
5. アスリートは退場し、競技会場、宿舍等へ移動する

(3) 表彰式

スペシャルオリンピックス競技会で競技する全てのアスリートは、その努力に対して賞賛され、賞が授与されます。各競技種目のディビジョンごとに1位から8位までメダルまたはリボンが授与されます。

- ・ 各競技種目の表彰式では、最下位から順に1位まで、さかのぼって賞を授与します。
- ・ 競技に失格したアスリートやゴールできなかったり、最後まで演技できなかったアスリートには、参加賞のリボンが贈られます。

詳細は、SO公式スポーツルール総則「12. 表彰」をご確認ください。

a. 表彰式の準備

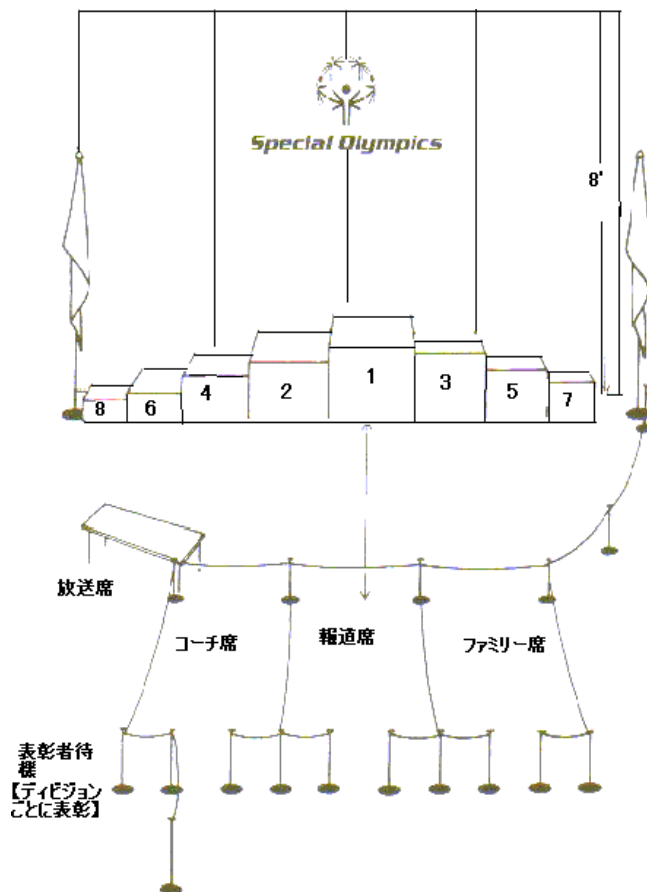
- ・ 賞(メダルあるいはリボン)を展示するためのテーブルを用意する。
- ・ 1位から8位までのメダルやリボン及び参加賞リボンは、必要数より余裕をもって用意する。
- ・ 地元の著名人に表彰プレゼンターをお願いしておく。

※ SO公式メダル、リボンの購入についてご不明な点がございましたら、SO日本事務局までお問い合わせください。

備品リスト(例)

- ・メダルまたはリボン(1位～8位及び参加賞)
- ・お盆
- ・表彰台
- ・スペシャルオリンピックス旗
- ・音響装置
- ・音楽 *地元の消防、学校等の生演奏など。
- ・テープ、コーンなど(行進の誘導に使用する)

< 表彰台の設置例 >



(4) 閉会式

a. 閉会式前の準備

- 地元の著名人(例:高校や大学の運動選手、教師、学校長、ラジオ／テレビ局アナウンサーなど)に司会をお願いする。(可能であれば)
- 閉会式の台本を準備し、ステージでの動きや体育館、競技場、またはスタジアムへの入場／退場行進ルートを決定する。
- 地元の著名人に依頼して、競技会の閉会宣言をしてもらう。
- スペシャルオリンピックスに参加するアスリートの中から聖火を運び出す者を選出する。
- 地元の出演者によるアトラクションを披露してもらうよう依頼する。

b. 閉会式の構成

- 音楽に合わせて、スペシャルオリンピックスのアスリートが行進する。
- スペシャルオリンピックストーチの退場。
- 地元の著名人が閉会宣言をする。

5 開会式の台本例

<開会式シナリオ>

担当	進行	台詞
司会	アスリート入場行進準備	スペシャルオリンピックスのアスリート・コーチのみなさん、ご来賓、ご招待の方々にお知らせいたします。まもなく行進が始まりますので、集合場所にお集まり下さい。 * バンドが参加する場合は、 彼らが入場し所定の場所に 着くときに、司会者がメン バーの紹介をします。
司会	開会	みなさん、おはようございます／こんにちは／こんばんは。 ～年、(会場／地域)スペシャルオリンピックス日本・〔地区名〕〇〇競技会の開会式にようこそおいで下さいました。
	アスリート入場 音楽が始まり、参加するアスリートの入場行進が始まります。 旗手をたてる場合、旗手が先頭に立ち、その後に続いて、その他のアスリートとコーチが行進します。	(入場中に参加アスリートについてアナウンスを流す) 開会式を始めるにあたり、アスリートに盛大な拍手を送りましょう。
	トーチ入場・点火	
司会	アスリート宣誓	(アスリートの名前)と、スペシャルゲスト(来賓者の名前)が、スペシャルオリンピックスの宣誓をします。
SOアスリート&著名人	アスリート宣誓	私たちは精一杯 力を出して勝利を目指します。 たとえ勝てなくても がんばる勇気を与えて下さい。
競技役員	競技役員宣誓、コーチ宣誓	
著名人	開会宣言	～年、スペシャルオリンピックス(地区/競技名など)競技会の開会を宣言します。
	閉会	以上を持ちまして、～年、(会場／地域)スペシャルオリンピックス日本・〇〇競技会の開会式を終了します。会場みなさま、これから競技を始めるアスリート達に暖かい拍手を送って下さい。

公益財団法人 **スペシャルオリンピックス日本**

住所: 〒105-0003 東京都港区西新橋 2-22-1 西新橋二丁目森ビル 7 階
Phone: 03-6809-2034 Fax: 03-3436-3666 E-mail: tokyo_office@son.or.jp
<http://www.son.or.jp>